

富岡鉄斎生誕190年 ―池大雅没後250年によせて―

鉄斎の富士

2026年

11月10日〔火〕～12月13日〔日〕

●学芸員による展示説明会・

11月21日、11月28日、12月12日 各土曜日 午後1時30分より

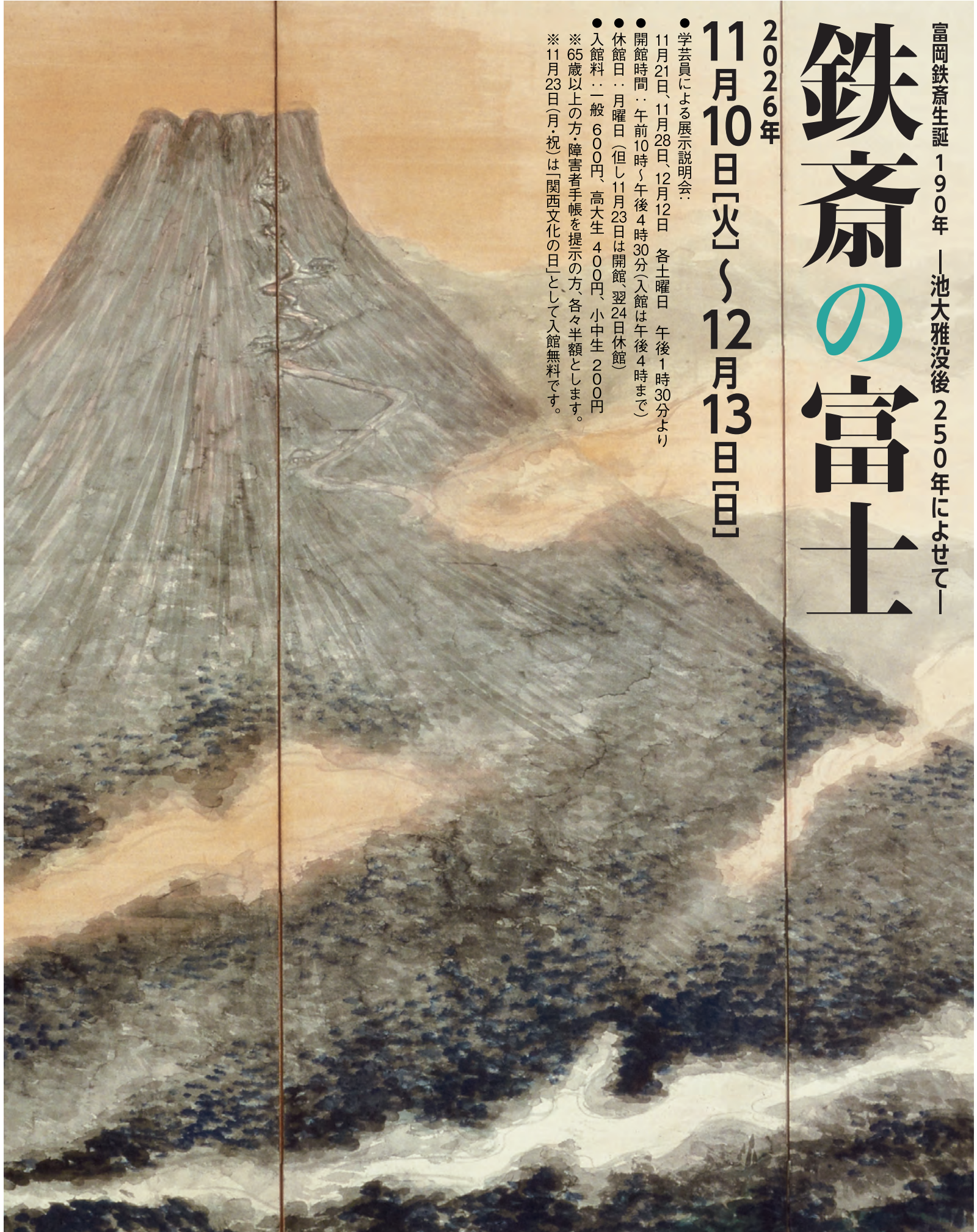
●開館時間…午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

●休館日…月曜日（但し11月23日は開館、翌24日休館）

●入館料…一般600円、高大生400円、小中生200円

※65歳以上の方・障害者手帳を提示の方、各々半額とします。

※11月23日（月・祝）は「関西文化の日」として入館無料です。



富士山図 右隻（部分） 1898年 63歳（宝塚市指定有形文化財）



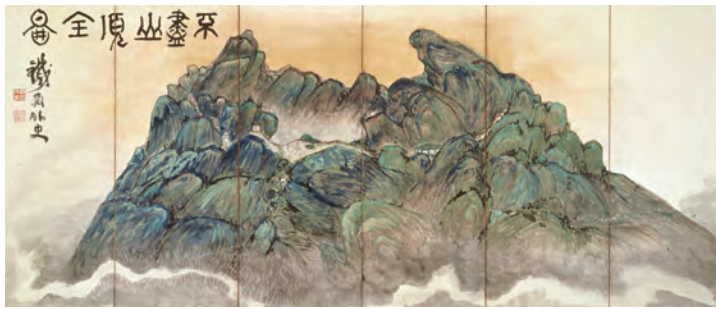
清荒神清澄寺

鉄斎美術館

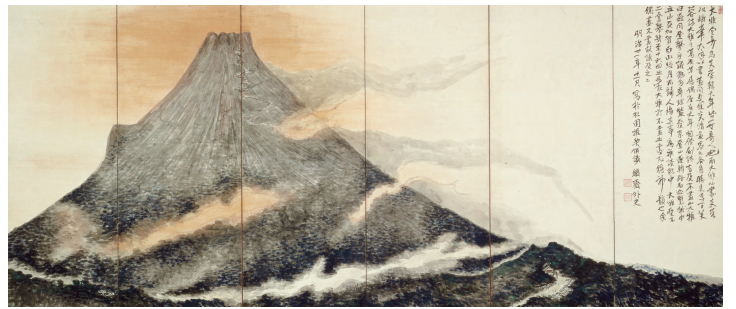
TESSAI MUSEUM

〒665-0837 兵庫県宝塚市米谷字清シ一番地 清荒神清澄寺山内
TEL. 0797-84-9600 FAX. 0797-84-6699 <http://www.kiyoshikojin.or.jp>

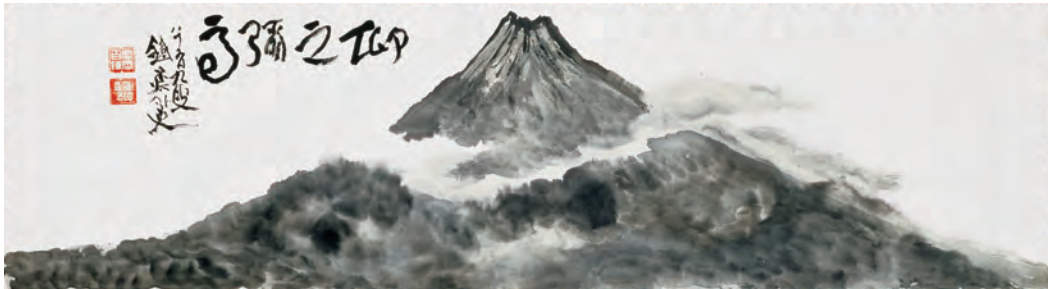




富士山図 1898年 63歳（宝塚市指定有形文化財）



三老登嶽図 1901年 66歳



富士山図 1924年 89歳

富岡鉄斎生誕190年 一池大雅没後250年によせてー

鉄斎の富士

鉄斎が蒐集した大雅ゆかりの貴重な資料も公開！

富岡鉄斎（1836～1924）は明治8年（1875）、生涯でただ一度の富士登山を果たし、数え89歳で没するまで、富士を主要な画題の一つとして描き続けました。六曲一双の画面に遠望図と頂上図を配した《富士山図》は、その画業の集大成ともいえる作品であり、近代美術史においてもひととき異彩を放つ傑作です。

本展では、多様な構図や技法によって表現された富士山図の数々を中心に、富士登山の様子を記録した旅行記や描く際に参考とした資料も展示し、「万巻の書を読み、万里の路を行く」ことで培われた富士へのまなざしをご紹介します。また、鉄斎は江戸時代の文人画家・池大雅（1723～76）が描いた富士を高く評価し、大きな関心を寄せました。大雅の没後250年を記念する本展では、大雅の作品を臨摸した粉本をはじめ、鉄斎が蒐集した『池大雅家譜』や大雅所用の古筆などの関連資料もあわせて展示します。鉄斎による大雅学習の深まりと、その敬慕の軌跡をご覧ください。



浮島原晴景図 1920年 85歳



朝晴雪図 1919年 84歳



文人多癖帖のうち池大雅像（部分）1924年 89歳

【関西文化の日】

11月23日（月・祝）は無料観覧日です。

当日は清荒神清澄寺境内で

秋の茶会（野点席）を開催しています。

日時・場所：10時～15時 史料館前広場

お茶券：1枚 500円（お菓子付き）

小企画展

鉄斎の扇絵—新春を寿ぐ—

2027年1月5日（火）～2月21日（日）

鉄斎美術館 別館「史料館」 ※入館無料

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画

第12回聖光文庫文化講座

「富岡鉄斎と頼山陽」

講師：谷口 匡氏（京都教育大学教授）

2026年12月6日（日）午後1時30分～午後3時

宝塚市立中央図書館 集会室 ※聴講無料・要予約

申込：0797-84-6121 ※2026年11月受付開始

共催企画展

「名勝への旅—江戸・明治の絵図と摺物—」

2026年12月6日（日）～2027年2月14日（日）

宝塚市立中央図書館 聖光文庫 ※入場無料

清荒神清澄寺



鉄斎美術館

TESSAI MUSEUM

〒665-0837 兵庫県宝塚市米谷字清一 清荒神清澄寺山内
TEL. 0797-84-9600 FAX. 0797-84-6699 <http://www.kiyoshikojin.or.jp>

鉄斎美術館「聖光殿」次回展覧会

「鉄斎と清荒神（仮）」

前期：2027年9月28日（火）～11月3日（水・祝）

後期：2027年11月6日（土）～12月12日（日）



【アクセス】

- 阪急電鉄を利用の場合……宝塚線清荒神駅下車、徒歩約15分（タクシー利用の場合は宝塚駅下車）
- JRを利用の場合……宝塚線宝塚駅下車、タクシーで約10分
- 車を利用の場合……国道176号線、宝塚歌劇場前交差点を北へ約2km 約380台駐車可能な清荒神清澄寺の駐車場あり